

兵庫県立丹波医療センター 地域医療連携センターだより



TAMBA MEDICAL CENTER

Vol.23
2025

3



〒669-3495 兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7 TEL:0795-88-5200(代表)

特集 眼科

眼科部長
金光 聖隆

新しい眼科検査機器を
導入しました！

眼底（目の奥の網膜や視神経）にできる病気には、様々なものがあります。糖尿病や高血圧による網膜血管の病気、網膜の中心部の黄斑にできる加齢黄斑変性・黄斑上膜・黄斑円孔、網膜の周辺にできる網膜裂孔や網膜剥離、そして近年増加傾向にあり失明の原因の第1位である緑内障などです。

これらの病気を早期に発見し、病態を正確に把握して、必要に応じて適切な治療を行うことは、生涯にわたって良好な視力を保つために必要不可欠なことであり、眼科診療において眼底検査は非常に重要な検査です。

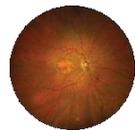
この眼底検査を行うにあたり、2つの強力な検査機器が、丹波医療センターに導入されました。

① 超広角眼底カメラ装置 CLARUS

カメラのレンズでも有名なドイツの光学機器メーカー、Carl Zeiss社の製品です。

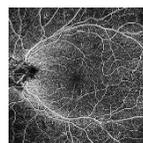
瞳を開くことなく無散瞳状態でも、黄斑部から周辺網膜まで広範囲の眼底撮影を行うことができます。さらに、従来の眼底カメラより解像度が高く、細かい病変も鮮明に描出可能で、様々な網膜病変の早期発見に有用です。

当院に来院される患者様は、車での来院が多いですので、無散瞳で眼底の観察が可能な事は、非常に喜ばれます。



② 光干渉断層計 (OCT) シラス HD OCT モデル 6000

光干渉断層計 (OCT) は、物を見るときに重要な黄斑や視神経の断層像を詳細に撮影・解析する装置で、眼科診療では非常に重要な検査機器です。このモデルは、従来のものと比べて測定スピードが早く、患者様に負担の少ない非侵襲的な撮影が瞬時に行えます。さらに、アンギオグラフィ機能を搭載しており、造影剤を使わずに網膜および脈絡膜血管の状態を非侵襲的に画像化することが可能です。



高度な機能を持つこの2つの機器を用いて、より負担が少なく有用な診療を行ってまいりたいと思います。

眼底の病気でお困りの患者様がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介頂ければ幸いです。



オープンセミナーを開催しました！

「抗アミロイドβ抗体薬がもたらす認知症診療の変化」

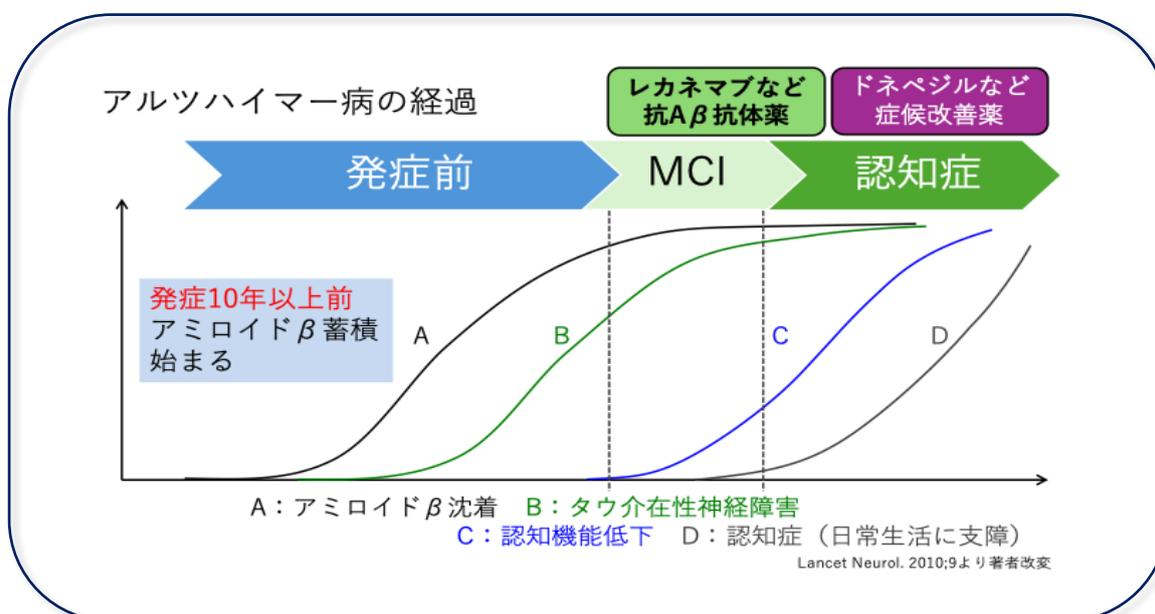
アルツハイマー病への レカネマブ治療を開始しました

脳神経内科 大塚 喜久



我が国の認知症患者数は2025年には約470万人に達し、今後も増加が予測されます。最多原因は「アルツハイマー病」で、皆様一度はその名前を聞かれたことがあると思います。物忘れを中心に判断力低下や抑うつ、易怒性などで患者様ご自身のみならず、ご家族にも大きな影響を与える神経疾患です。アミロイドβという異常タンパク質が脳に蓄積することが、アルツハイマー病における神経障害の主な原因と考えられています。アミロイドβは認知症発症の10年以上前から脳内に蓄積し始め、軽度認知機能障害（MCI）の時期を経て、認知症に至ります。アミロイドβをターゲットにした治療は長年研究されてきましたが、遂に脳からアミロイドβを除去し、アルツハイマー病の進行を遅らせることが期待できる抗アミロイドβ抗体薬レカネマブが創薬され、2023年12月から使用可能になりました。当院でもレカネマブによる2週に1回の外来点滴治療（原則18ヶ月間）を行っています。レカネマブ治療を受けられるのは認知機能テストMMSEが22点以上、つまり軽度の認知症かMCIのアルツハイマー病患者様に限られます。なお、レカネマブは病気の進行を完全停止させたり、治癒させたりするわけではなく、進行を遅らせる薬です。投与には専門的な検査が必要で、現在、丹波市・丹波篠山市では当院のみ提供可能です。抗アミロイドβ抗体薬の登場により認知症はますます早期発見・早期治療が重要になりました。

物忘れが気になる方は丹波医療センター脳神経内科にご相談ください。



2月16日


 ICLS 日本救急医学会
 Immediate Cardiac Life Support

第一回 指導者養成ワークショップを開催しました！

丹波医療センターでは、ICLS 研修を年2回開催して、突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生を習得し、医療従事者の救命処置のスキルアップにつなげています。

さらに、ICLSの内容を熟知し、その効果的な指導方法を実践できるインストラクターを育成するために、認定ワークショップディレクターである大阪府済生会中津病院の木島先生の協力を得て、丹波医療センター開設後初めて開催できました。

今後、公認ICLSインストラクターが医療現場や人材育成において活躍することを期待しています。



がん看護緩和ケア研修会を開催しました



がん性疼痛看護認定看護師 藤原 美由紀

2025年2月13日（木）に、がん看護緩和ケア研修会を開催しました。

この研修は院内及び圏域内の看護師を対象に、がん看護の質を高めるために毎年開催しています。今年度は「アドバンス・ケア・プランニング」をテーマとし、ロールプレイを中心に実施しました。はじめは緊張した雰囲気もありましたが、ロールプレイを重ねていく度に、それぞれの立場から和やかにフィードバックできました。参加者からは、「コミュニケーションスキルの重要性を再認識した」「告知後や治療中の患者との関わり方に役立つ」「ロールプレイで患者役を体験することで患者さんの気持ちを実感することができた」などの声が聞かれました。

患者さんが、がん治療を決定していくにあたり、その人らしさを尊重した関わりは重要です。

今後もがん看護に関する研修を開催し、患者さんに寄り添う看護実践を提供していきます。



肝臓専門外来やっています！



当院では毎週木曜日に肝臓専門外来を行っております。

従来は肝硬変の成因としてC型肝炎が過半数ですが、近年はアルコール性肝硬変が最多で、C型肝炎、MASH（代謝関連異常脂肪肝炎）、B型肝炎がそれに続きます。

すべてのC型肝炎が抗ウイルス療法の適応で、肝硬変でもウイルス排除により肝予備能が改善しますので、抗体陽性またはRNA陽性の方がいらっしゃればご紹介いただければと思います。



内科
朝治 直紀



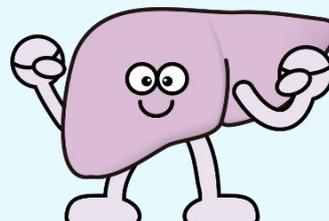
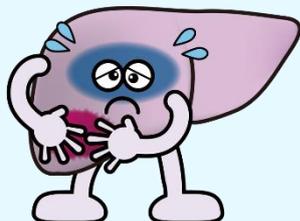
今後はアルコールや生活習慣病による肝硬変が問題になっていくと考えています。かつて酒は百薬の長と言われ、少量の飲酒は脳卒中などの死亡リスクを下げると言われましたが日本人はアルコール分解能が弱い遺伝子を持つ割合が多く、遺伝子多型を考慮すると少量の飲酒でも死亡リスクが上昇することが判明しています。近年増加している代謝関連異常脂肪肝疾患（MASLD）、代謝関連異常脂肪肝炎（MASH）は生活習慣病と密接に関連し、死因は心血管系（心筋梗塞や脳卒中）が最多で、肝臓癌以外の他臓器癌（大腸癌、膵癌、子宮癌など）が続き、肝関連死（肝癌、肝硬変など）は3番目と報告されています。

MASLD/MASHの予後に関連するのは肝線維化であり、肝線維化が考えられる場合（FIB4index 1.3以上など）、専門医外来受診を推奨します。



当院では最新の超音波検査により肝線維化が侵襲を伴わずに評価可能です。

また、B型肝炎はウイルスが肝細胞に感染すると非常に安定した構造をとり、感染すると体外に排除することは困難です。非活動性キャリアや既感染などウイルス活動性が低下しても免疫抑制剤を使用すると再活性化の可能性があります死亡率が上昇しますので注意が必要です。ステロイドなど免疫抑制剤を使用する場合はHBs抗原、HBs抗体、HBc抗体の測定が必須です。核酸アナログの使用により肝癌や再活性化のリスクを減らせますので、キャリアや免疫抑制剤使用予定でステロイドなど長期使用予定があればご紹介いただければと思います。



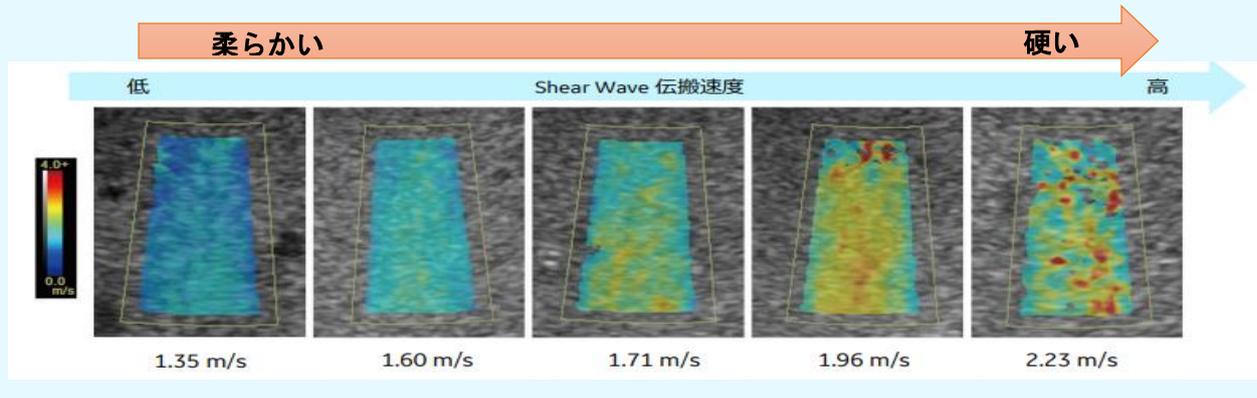
超音波肝エラストグラフィー検査

慢性肝疾患のある方、あるいはその疑いのある方について、肝臓の組織が硬くなっていないかどうか、またその程度を評価する検査です。

肝臓の硬さ、線維化が進むにつれて、肝臓がんが発生する確率や、肝硬変や肝不全へ進行するリスクが高まることが知られているため、肝臓疾患の治療方針を決定するために重要な情報を得ることができます。超音波を使って組織の硬さを測定するので、肝生検のような痛みを伴わずに検査ができます。



対 象：肝硬変、肝硬変疑いの方（3ヶ月に1回保険適応）
 検査機器：腹部超音波検査装置を使用
 検査時間：30分程度
 注 意 点：食事によって検査結果に影響がでるため、原則として食事を抜いて行います。飲水や薬の内服は可能です。



街の医療機関

地域医療を担う近隣の医療機関を紹介させていただくコーナーです。医療機関の特徴を知り、地域住民の皆様にも良質かつ効率的で切れ目のない医療が提供できる連携を目指します！
 今号は、塩見医院をご紹介します☆

塩見医院 塩見 亮司 先生（丹波市市島町）

1月14日に市島町の塩見医院を訪問し、院長の塩見亮司先生にお話を伺ってきました。塩見先生は山口大学出身で、昨年3月まで丹波医療センターで脳神経外科医として勤務されていましたが、8月より先代のお父様が開業されていた塩見医院を10年振りに新築リニューアルし、内科・脳神経外科として開院されました。お父様も脳神経外科医で神戸大学脳神経外科初代教授の松本悟先生に師事されていました。昨年3月に閉院された長澤進先生はお母様のご兄弟だそうです。患者さんは新規の方だけでなく、かつて塩見医院をかかりつけにされていた方が年齢を重ね、再び戻って来られているようです。大きな検査機器がないため、脳神経外科対応の患者さんは丹波医療センターや福知山市民病院と連携して対応しているそうです。現在は採血や点滴などの処置も、ご自身で行われているなど、訥々と語って頂きました。（芝記）



外来診療担当表

| 診療科 \ 曜日 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備考 | |
|-------------|---|--|--|-------------------------------|-------------------------------|---|----------------------------------|---------------------------------|
| 内科 | 一般、初診 | 藤井 康和 (消化器・肝臓・腎臓) | 林 友鴻 | 見坂 恒明 | 森 寛行 | 見坂 恒明 | ◎ 二次精密検査は、一次健康診断結果票をご持参ください。 | |
| | 専門 | 河崎 悟 (循環器) | 新倉 悠人 (循環器) | 松本 賢亮 (循環器) | 松本 賢亮 (循環器) | 西尾 亮 (循環器) | ◎ 水曜 松本医師 診療時間 第2・4水曜は10:30まで | |
| | | 西崎 朗 (消化器) | 星島 正彦 (循環器・腎不全) | 佐藤 悠 (消化器) | 西崎 朗 (消化器) | 朝治 直紀 (消化器) | ◎ 西崎医師は予約診療のみ | |
| | 予約再診 | 森 寛行 | | 藤井 康和 | 藤井 康和 | 田中 健雄 第1・3・5 | ◎ 次回の再診予約のあった患者さんのみ | |
| | こころと記憶の診療科 | 射場 亜希子 | | | | | ◎ 他医療機関等からの紹介予約のみ | |
| | 呼吸器 | 奥野 恵子 | 奥野 恵子 (腫瘍) | | | 小林 和幸 (第1・2・4) 奥野 恵子 | ◎ 午後(再診のみ) | |
| | ペースメーカー | | 第1・2・3・4 午後 河崎 悟 | | | | | |
| | 糖尿病 | | 井上 朋也 | | 鈴木 正暉 第4 14時～ 大橋 紳一郎 | | | |
| | 緩和ケア | | 板倉 崇泰 午後 | 板倉 崇泰 | 板倉 崇泰 | 板倉 崇泰 | 田中 祐子 | ◎ 緩和ケア：院内がん相談支援センターで予約された患者さんのみ |
| | がん治療支援 | 板倉 崇泰 (午前) 辻 麻人 (午後) 大塚 喜久 | 板倉 崇泰 | 板倉 崇泰 | 板倉 崇泰 | 板倉 崇泰 | 田中 祐子 | |
| | 脳神経内科 | | 松野 泰幸 | 大塚 喜久 | | | 大塚 喜久 (もの忘れ) | |
| | 腫瘍・血液内科 | | 薬師神 公和 | | 水谷 優 | 水谷 優 | | |
| | 膠原病 | | | | 第2・4・5 河野 誠司 | 上田 洋 (第1・3・5) 山本 英里子 (第2・4) | | |
| | リウマチ内科 | | | | 朝治 直紀 | | | |
| 肝臓 | | | | 星島 正彦 | | | | |
| 禁煙・睡眠無呼吸・栄養 | | | | | | | | |
| 小児科 | 1 診 | 井上 真太郎 | 永井 貞之 | 松本 泰右 | 市川 裕太 | 酒井 國安 | | |
| | 2 診 | 井上 遼太郎 | 市川 裕太 | 松岡 輝 | 永井 貞之 | 松本 泰右 | | |
| | 3 診 | 松岡 輝 | 仕名野 剛史 | 山泉 琴音 | 井上 遼太郎 | 井上 真太郎 | | |
| | 専門外来 (予約) | 第2・4 内分泌 坊 亮輔 第1・3・5 神経 山口 宏 松本 泰右 担当医 (予防接種) | 井上 真太郎 (夜尿症・循環器) 酒井 國安 (アトピー・アレルギー) | 担当医 (乳児健診) | 松岡 輝 | 永井 貞之 | | |
| 外科 | 一般・消化器 | 寺井 祥雄 | | 藤田 恒憲 | 岡副 佑城 | 藤田 敏忠 | | |
| | 乳腺外科 | 畑 みなみ 第1・3 肝臓 木戸 正浩 | | 戸田 朱香 第2・4 肝臓 木戸 正浩 | | | | |
| | | 岸 淳彦 | | 岸 淳彦 | | 岸 淳彦 | | |
| 整形外科 | 上本 晴信 山本 士優斗 | 芝 昌彦 戸田 誠也 上本 晴信 (予約のみ) | 上本 晴信 | 芝 昌彦 山本 士優斗 | 芝 昌彦 戸田 誠也 | ◎ 金曜 芝医師は初診のみ | | |
| リハビリテーション科 | 上本 晴信 | 芝 昌彦 | 上本 晴信 | 芝 昌彦 | 芝 昌彦 | ◎ リハビリ訓練(要予約)は毎日実施 | | |
| 脳神経外科 | 甲田 将章 (第1・3・5) 藤本 陽介 (第2・4) 奔瀨 夏那 (予約のみ) | 岡村 有祐 | 担当医 (予約のみ) | 岡村 有祐 | 井村 隼 | ◎ 月曜 奔瀨医師 診療時間 11:30~14:00 ◎ 水曜 予約診療のみ(救急対応要相談) | | |
| 皮膚科 | | 宮崎 梨香子 | 村田 洋三 | 藤原 進 | 村田 洋三 | ◎ 受付時間 火曜 11:00まで | | |
| 泌尿器科 | 岡本 雅之 | 山崎 隆文 | 岡本 雅之 | 山崎 隆文 | 兵頭 洋二 | ◎ 受付時間 月~木曜 11:00まで 金曜 10:30まで | | |
| 産婦人科 | 1 診 | 丸尾 原義 | 望月 慎介 | 三原 綺乃 (第1・3・5) 真鍋 仁 (第2・4) | 望月 慎介 | 鈴木 美奈子 | | |
| | 2 診 | 出口 雅士 | 三原 綺乃 | 中島 由貴 | 真鍋 仁 | 中島 由貴 | | |
| 周産期 | | 担当医 | | 担当医 | | ◎ 午後のみ・予約診療のみ | | |
| 眼科 | 9時30分~ 棚瀬 真希子 第1 午後 菅澤 淳 | 金光 聖隆 金子 景佑 | 第1・2・4・5 金光 聖隆 第3 菅澤 淳 | 金光 聖隆 金子 景佑 | 金光 聖隆 金子 景佑 | ◎ 診療開始時刻 棚瀬医師・林医師 9:30~ ◎ 林医師は予約診療のみ | | |
| | 午後 四宮 弘隆 (第1・3・5) 上田 隆 (第2・4) 楠木 章伸 (予約のみ) | 藤井 大智 | 午後 由井 光子 | 楠木 章伸 | 藤井 大智 (第1・3・5) 藤原 肇 (第2・4) | ◎ 受付時間 月~水、金曜 11:00まで 木曜 10:30まで ◎ 月・水曜 午後のみ | | |
| 放射線科 | 一般 | 楠 直明 | 楠 直明 | 楠 直明 | 楠 直明 | 楠 直明 | ◎ 予約診療のみ | |
| | リニアック | 小西 圭 川口 弘毅 | 小西 圭 川口 弘毅 | 小西 圭 梶原 彰文 | 小西 圭 梶原 彰文 | 小西 圭 | | |
| 歯科口腔外科 | 竹内 純一郎 寺岡 駿 | 竹内 純一郎 寺岡 駿 | 竹内 純一郎 寺岡 駿 | 竹内 純一郎 寺岡 駿 | 竹内 純一郎 寺岡 駿 | ◎ 予約診療のみ | | |

入院される患者さんへ

～早期退院および早期転院等に関するご理解ご協力についてのお願い～

当センターは、丹波地域の中核病院として、県民の皆さんの命と健康を守るため、救急医療をはじめ質の高い医療の提供を目指しています。

このため、できるだけ多くの方にご利用いただけるよう、病状が安定された入院患者さんにつきましては、救急入院患者のために早期退院や他の医療機関への転院をお願いしております。

何卒ご理解、ご協力いただけますようお願いいたします。

